

令和8年度 福井県ファシリテーション研修
サビ児管研修演習講師養成コース

サービス管理責任者および児童発達管理責任者基礎研修
演習講師役割と基礎研修概要

令和6年9月10日(木)



演習講師養成コース内容

“ファシリテーション技術に関する知識”を活用し、演習講師となって指示・指導する経験をする。
サビ児管研修で求めている価値・知識・技術を深く学ぶことができ、価値に基づいた行動ができるようになる。



- ・県の障がい福祉活性化の担い手になれる！
- ・自分の仕事や自事業所について振り返ることができる！！
- ・県内の先輩講師や他事業所職員とのつながりがもてる！！！！

～実施要領添付チラシより～

演習講師養成コースの流れ

講義・演習 ← 今日と明日

ファシリテーションの知識・技術を学び、研修でのグループワーク力を知り、経験する

共有

研修運営会議に参加し、研修意図や構造の共有を図る。

実践

演習のファシリテーター(演習講師)として参加する

『サビ児管基礎研修』

基礎研修が演習の場となる理由

目標が明確（個別支援計画の作成）

→ 準備の重要性

様々な背景の受講者

→ Ft技術の実践

たくさんの演習

→ 実践・振り返り・評価そして実践・・・

サビ児管基礎研修 めあて

サービス管理責任者・児童発達管理責任者の役割を知る

サービス提供プロセスの管理を学ぶ

個別支援計画作成のプロセスを学ぶ

OJTのなかで学んでいくことの道筋を立てる

サビ児管基礎研修の組み立て

講義(1日)・・・福祉の動向や基礎知識の習得(Web)

事前学習・・・事例の読み込み、概要作成など

ファシリテーターは、
演習内容の確実な把握が必要
＝『準備が8割』

演習(2日間)

～1日目～

- ①事例概要・・・野中式
- ②サービス提供のプロセス
- ③ニーズ整理
- ④個別支援計画作成

～2日目～

- ①個別支援計画作成(1日目の続き)
- ②模擬支援会議(ロールプレイ)
- ③中間評価
- ④個別支援計画修正

ファシリテーターの出番

演習を詳しく・・・1日目

- 事例概要・・・野中式で共有（講師Ftで進行）

誉さん像の共有・・・リフレーミングなどの知識を実体験してもらう

- サービス提供のプロセス・・・講義とデモで進行

アセスメントや担当者会議というものを知る

- ニーズ整理・・・個人ワーク、グループワークで進行

誉さんの人生のニーズ、そのなかで“働く”ニーズを整理してしぼる

個別支援計画作成・・・個人ワークとグループワークで進行

就労支援B型の個別支援計画作成←長期・短期は目指す

演習を詳しく…2日目

- 個別支援計画作成(1日目の続き)

完成を目指しますが…あくまでも「プロセス」を学ぶことを重視

- 模擬支援会議(ロールプレイ)

作成した経過を誉さんとお母さんに説明するロールプレイ

- 中間評価 ※どこかのタイミングで

ロールプレイやモニタデモを見て、中間評価をする

- 個別支援計画修正

中間評価を経て、計画を修正する

ファシリテーターは

基礎研修受講者の背景イロイロ

よく分からないけど研修に来ました
サビ兎管ってなに？
まだ、1年目なんだけどこの研修来ていいの？
自分のところのサビ兎管って、何してるのかよく分からない
自分はこんなサビ兎管になりたいんだ！
研修って苦手…グループワークってなにすんの？

多種多様な
背景や環境の
いろんな意見を
持っている人たち

「否定されない」環境のなかで「意見が言える」ための…『場づくりの技術』『人と人を結ぶ技術』

様々な意見からベクトルを合わせていくための…「集団における問題解決」「アイデア開発」
「合意形成」

令和8年度 福井県ファシリテーション研修
サビ児管研修演習講師養成コース

サービス管理責任者および児童発達管理責任者基礎研修

ニーズ整理について

令和8年9月10日(木)

演習1の進行

第1日目午後②

14:15

14:30

16:10 16:20

17:10

(1) ガイダンス・講義 「個別支援計画作成(演習)」 「事業所面談の留意点」 VTR(視聴)	(2) ニーズ整理 「講義」→「グループワーク」→「まとめ」	休憩	(3) 講義 「個別支援計画作成のポイント」 と 「(演習)個別支援計画作成」
---	--------------------------------------	----	---

(1)ガイダンス・講義「事業所面談の留意点」

- ・個別支援計画作成(演習)の流れの説明。
- ・担当者会議の結果を踏まえ、事業所として本人や家族に再度確認したいこと。
- ・ニーズ整理表の意味と使い方、書き方について。
- ・面談実施の留意点とその技術について。

(2)事業所面談 VTR視聴・ニーズ整理票の作成

- ・「事業所面談の実際」のVTRを視聴し、その実際を学ぶ。また、アセスメントを行う。
- ・ニーズ整理表の作成を行い、本人のニーズと具体的な目標を導き出す

(3)講義「個別支援計画作成のポイント」

- ・個別支援計画作成のポイントの講義と実際にグループワークを通して、作成を行う。

ニーズ整理までの道のり～サービス担当者会議～

- 受講者
デモ見学を通して、誉さんのニーズや新たな課題などの情報を得る
- Ftの役割
 - 視聴中の受講生を観察する(理解度、捉え方、まとめ方…)
→今後のグループワークに活かす
 - 行き詰っている方、理解が追いついていない方のフォローをする
＝デモ内容とワークシート使用方法の把握が必要

担当者会議に至る経緯と状況

- ・ 米田誉さんは、母の行動がきっかけで委託相談支援事業所に繋がることができました。相談支援専門員と話すなかで、「働きたい気持ちもあるけど、怒られるのが怖い」、「友人のように、いつか一人暮らししてみたい」という思いを伝え、先日グループホームと就労継続支援B型事業所の見学を行いました。

(その後…)

- ・ 見学後、誉さんから就労継続支援B型事業とグループホームについて詳しく知りたいという話があり、両事業を体験しました。その結果、就労継続支援B型事業とグループホームを正式に利用したいという意向を確認し、指定特定相談支援事業所に繋がりました。そこでサービス等利用計画(案)が作成され、担当者会議を開催することになりました。

ニーズ整理までの道のり～個別面談～

- 受講者

デモ見学を通して、事業所における皆さんのニーズを見つける。
＝個別支援計画の大枠となる情報収集。

- Ftの役割

- 見学中の受講生を観察する(理解度、捉え方、まとめ方…)

→今後のグループワークに活かす

- 行き詰っている方、理解が追いついていない方のフォロー

＝デモ内容とワークシート使用方法の把握が必要



グループワークの準備
→板書
→イメージトレーニング

ニーズ整理までの道のり～講義～

- ニーズ①を使用してニーズ整理のプロセスを講義で説明
 - ニーズ整理のプロセスを確認
 - グループワークの進め方のイメージトレーニング

今日は、このニーズ①を使って
デモンストレーションします。



ニーズ整理のポイント

- ニーズ整理の目的
- ニーズ整理のポイント
 1. 利用者の意向に沿っているか
 2. 人生の一部としてとらえているか
 3. 全体像をとらえているか
 4. 多面的にとらえているか
 5. 複数の立場、職種の意見が反映されているか
 6. 課題は検証可能か

ニーズ整理表

利用者名

さん

No	A：解決すべき課題 (本人のニーズ)	B：利用者の初期状態 ＝事実と根拠	C：支援者の気になること・可能性 ＝Bに基づいて推測できること	D：願いや希望を満たす ために本人がやること (具体的な到達目標)
	サービス等利用計画は、サービス担当者会議にサビ管も参加して決めたものである。 本人のニーズを全体的に把握したうえで、事業所で何ができるかを考える。その逆にならないように！	支援の根拠となる本人の現在の状況や環境の状況である。	支援者が推測する際には、単なる思い付きや思い込みではなく、根拠が必要！初期状態の評価と事例の可能性、推測することはリンクしている。	ニーズを達成するために本人がやることや、サポートを受けて本人が取り組むこと等を具体的にすることで、個別支援計画の作成につながっていく。

ニーズ整理のグループワーク

【意図】

ニーズ③での個人ワークの際に「まったく、分からない」という状況を作らない。

1. ニーズ②グループワーク

ニーズ②【軽作業とカフェの仕事をしたい】

2. ニーズ③個人ワーク → グループワーク

ニーズ③【分からないことを聞いたり、困ったときに相談できるようになりたい】

Ft デモンストレーション |

- ・ニーズ①「送迎してほしい」を使って…

～観察ポイント～

●Ftの動き…Ftのスキル、立ち位置、言葉かけ…etc

●板書の動き…WB板書テク、マーカーの色…etc

※見学シート等にFtに関する「気づき」を記入

→Ftの動き＋受講者の反応も「気づき」に繋がります

Ft 演習(ニーズ整理)

- ニーズ②「軽作業とカフェの仕事をしたい」

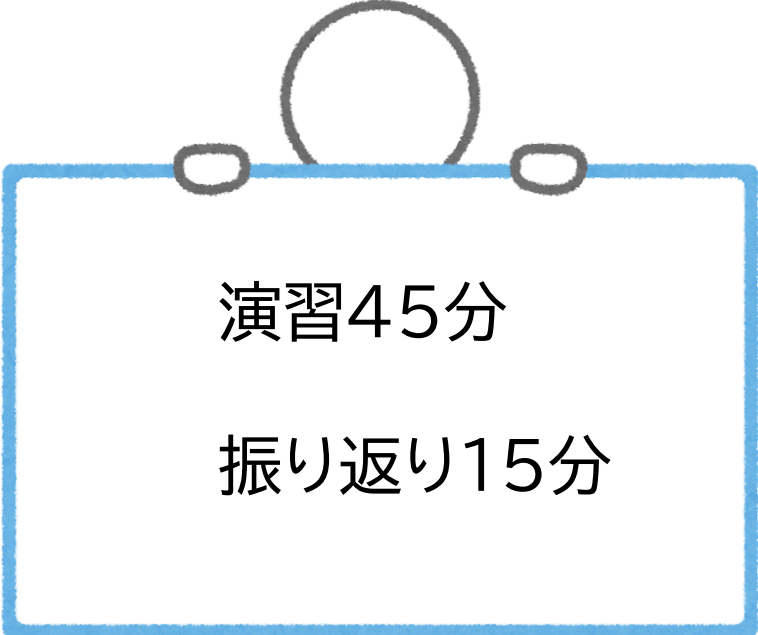
進行:

板書:

- ニーズ③「分からないことを聞いたり、困った時に相談できるようになりたい」

進行:

板書:



演習45分

振り返り15分

はじめましょう！

行くぜ！！



行くぜ！！



行くぜ！！



令和8年度 福井県ファシリテーション研修
サビ児管研修演習講師養成コース

サービス管理責任者および児童発達管理責任者**基礎**研修

個別支援計画作成の説明

令和8年9月11日（金）

演習 1 の進行

第 1 日目午後②

14:15

14:30

16:10

16:20

17:10

(1) ガイダンス・講義 「個別支援計画作成（演習）」 「事業所面談の留意点」 VTR（視聴）	(2) ニーズ整理 「講義」 → 「グループワーク」 → 「まとめ」	休憩	(3) 講義 「個別支援計画作成のポイント」と 「（演習）個別支援計画作成」
---	--	----	---

(1) ガイダンス・講義「事業所面談の留意点」

- ・ 個別支援計画作成（演習）の流れの説明。
- ・ 担当者会議の結果を踏まえ、事業所として本人や家族に再度確認したいこと。
- ・ ニーズ整理表の意味と使い方、書き方について。
- ・ 面談実施の留意点とその技術について。

(2) 事業所面談 VTR視聴・ニーズ整理票の作成

- ・ 「事業所面談の実際」のVTRを視聴し、その実際を学ぶ。また、アセスメントを行う。
- ・ ニーズ整理表の作成を行い、本人のニーズと具体的な目標を導き出す

(3) 講義「個別支援計画作成のポイント」

- ・ 個別支援計画作成のポイントの講義と実際にグループワークを通して、作成を行う。

個別支援計画作成演習のスケジュール

【講義(10分)】

Ftの動き

- WB枠線、必要項目記入(参考写真あります)
- ニーズ①「送迎してほしい」これもWBに記入
- どこでもボードに発表ポイントを記入

12:05まで

[サセ計画]の総合的な援助方針 残り

・ゆのまちハウス(GH)を一つのステップとしてできることを増やし、一人暮らしに必要な家事(調理・洗濯など)ができるようにしていく。
また、スマイル(就労B)で仕事をする生活リズムを整え、菅さんの強みを見つけながら働くことの自信をつけて将来について考えられるようにする。不安な時や苦しい時等は相談できるように支援していく。

[到達目標] 家事等(金銭管理⑧) 自分でできることを知り、できるようになる。
(2~3年) 自信を持って仕事をしている。
前よりも不安なく相談できている。

[長期目標] いろいろな作業を体験して、得意不得意を見つけ、得意な作業に自信を持ち、とりくむ。
(1年) スマイルの職員と関わり、少しずつ解決できるようにする。
[短期目標] 生活リズムを整えて毎日自転車通勤。
(3~6月) いろいろな人と話し、話しやすい人、方法をみつける。

③b
かいてもよし
けいでもよし
お任せ
(元々得意)

本人ニーズ (具体的到達目標)	本人の役割	支援内容(内容・留意点)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先順位
①自転車通勤できる までは送迎をしてほしい。					
②軽作業と力尽かした 仕事をしたい。可楽と					
(具体的到達目標)					
いろいろな作業を体験し 得意、不得意を見つける。					

個別支援計画作成演習のスケジュール I

- ・ 演習

1日目最後のコマ、この演習時間で・・・

- Ftの目標

★到達目標、長期目標、短期目標までを 仕上げる★

別枠でやること

★発表ポイントのまとめ★

演習全体を通して、Gr内での発言を拾って適宜まとめ上げていく

個別支援計画 作成演習 ポイント I

- 総合的な援助の方針
「サービス等利用計画の総合的な援助の方針」をそのまま
- 到達目標
2～3年後の生活全般を含めたそうになっていた姿
- 長期目標
1年後、事業所での支援や取り組みを経て、そうになっていた姿
- 短期目標
3～6か月後、事業所での支援や取り組みを経て、そうになっていた姿

演習 1 の進行

第2日目午前

9:30

10:40

11:00

11:10

12:25

(1) 演 習 「個別支援計画作成」	(2) 演 習 「全体発表・まとめ」	休憩	(3) 演 習 「模擬支援会議」
--------------------------------------	--------------------------------------	-----------	------------------------------------

(1) 演習「個別支援計画作成」

- ・ 昨日の続きを行い、全体発表の準備をする。

(2) 演習「全体発表・まとめ」

- ・ グループで作成した個別支援計画を全体で共有する。

(3) 演習「模擬支援会議」

- ・ 個別支援会議の開催を行い、作成した個別支援計画の説明を行う。

個別支援計画作成演習のスケジュール II

- ・ 演習

2日目最初のコマ、この演習時間で...

- Ftの目標

★ニーズ② ニーズ③ 完成★

- ※時間配分(目安)

1ニーズ35分(本人の役割12分+支援内容～担当者23分)

別枠でやること

★発表ポイントのまとめ+発表内容打合せ★

演習全体を通して、Gr内での発言を拾って適宜まとめ上げていく
発表Grは冒頭でお伝えします

個別支援計画 作成演習 ポイント II

- 具体的到達目標
本人ニーズに対する具体的な目標(ニーズ①を参考に)
- 本人の役割
ニーズ、具体的到達目標を達成するために誉さんがすること
- 支援内容
ニーズ、具体的到達目標を達成する誉さんへの必要な支援内容
- 支援期間・担当者
頻度・時間・期間など 実際に支援を担当する職員など

担当者会議 事業所面談 シナリオ確認

(初回)担当者会議シナリオ

【登場人物 6名】

本人 (米田 誉)

母 (米田 ひかる)

相談支援専門員 (藤山)

B型サビ管 (川瀬)

GHサビ管 (松嶋)

市役所 (井端)

相談支援専門員: 本日

今から米田誉さんの

では、会議を始める前

<自己紹介>

○相談支援専門員か

相談支援専門員: では

B型スマイル個人面談シナリオ

登場人物: 本人(米田誉)

B型サビ管(川瀬)

B型担当者(三口)

状況: 初回サービス担当者会議を経て、後日スマイルで個人面談を行うことになりました。主に個別支援計画に関わるニーズの聞き取りと、利用開始までのスケジュールについての確認をします。

サビ管: 誉さんこんにちは。今日は、スマイルまで来てくださりありがとうございます。

前回のサービス担当者会議で話しあったことをもとに、担当の三口も一緒に誉さんのお気持ちをもう少し詳しく聞かせていただきたいと思います。

誉さんが「スマイルでどんなことをやりたいのか、頑張ろうと思っているのか」、「どんなサポートをしてほしいのか」などについてお聞きします。また、今日お話していただいた内容をもとに、「誉さんのことをどうサポートしていくか」を考えた「個別支援計画」を作成します。作成した後は、誉さんに確認してもらいますので、そのときにはよろしくおねがいします。

この前のサービス担当者会議では言っていなかったこととか、お気持ちが変わったことなどがあ

演習(個別支援計画作成)

「到達目標、長期目標、短期目標」

「具体的到達目標、本人の役割、支援内容」

【演習①】

進行:

板書:

【演習②】

進行:

板書:

演習45分

振り返り15分



はじめましょう！

令和8年度 福井県ファシリテーション研修
サビ児管研修演習講師養成コース

サービス管理責任者および児童発達管理責任者基礎研修
模擬支援会議～中間評価～修正

令和8年9月11日(金)

演習 1 の進行

9:30	10:40	11:00	11:10	12:25
(1) 演 習 「個別支援計画作成」	(2) 演 習 「全体発表・まとめ」	休憩	(3) 演 習 「模擬支援会議」	

(1) 演習「個別支援計画作成」

- ・ 昨日の続きを行い、全体発表の準備をする。

(2) 演習「全体発表・まとめ」

- ・ グループで作成した個別支援計画を全体で共有する。

(3) 演習「模擬支援会議」

- ・ 個別支援会議の開催を行い、作成した個別支援計画の説明を行う。

模擬支援会議 (ロールプレイ)

- 設定: 誉さんと母に個別支援計画を説明する
- 内容: Grで作成した計画
- 振り返り: 役を演じて感じたこと
→工夫できそうなこと観察者のコメントも大事

★Ft役割

- ロールプレイ配役内容をフォロー
- ロールプレイ状況把握
- 振り返りのFt(コメントはどこでもボードに集約)

※各グループ作成の個別支援計画の役目終了

演習 2 の進行

13:15

13:30

13:47

14:22

15:25

16:25

17:05

(1) 講 義 「中間評価について」	(2) ガイダンス 「演習の進め方」	(3) 演 習 「VTR視聴」	(4) 講 義 「中間評価の方法」	(5) 演 習 「中間評価の実施」 「まとめ」	(6) 演 習 「個別支援計画修正」	(7) まとめ
--------------------------	--------------------------	-----------------------	-------------------------	----------------------------------	--------------------------	------------

(1) 講義「中間評価について」

- ・ 中間評価についての講義を受け、中間評価の意味を知る。

(2) ガイダンス「演習の進め方について」

- ・ 演習の流れと太一さんの現状について。

(3) 演習「VTR視聴」

- ・ 3ヶ月後モニタリング時の担当者会議のVTRを視聴をする。

(4) 講義「中間評価の方法」について

- ・ 中間評価票を用いて、実際に中間評価の仕方について学ぶ。

(5) 演習「中間評価の実施」

- ・ 中間評価票の作成を行い、グループ内で共有する。

(5) 演習「個別支援計画の修正」

- ・ 中間評価の結果から、個別支援計画の修正・作成を行う。終了後発表を行う。

中間評価 ※ここからは、スタッフ作成計画使用

- デモ見学・・・6か月経過した状況と誉さんの変化を知る
- 講義・・・ニーズ①を使用して、中間評価のプロセスを伝える
- 演習
 - ニーズ②・・・グループワーク
 - ニーズ③・・・個人ワーク→グループ



誉さんの6ヶ月後の姿と担当者会議開催の経緯

<誉さんの6ヶ月後の状況について>

米田誉さんは、GHでの生活とB型事業所を利用して半年が経過し、相談支援専門員がサービス等利用計画のモニタリングのため、各事業所の聞き取りを行いました。

スマイルでは、順調に作業内容を覚えて安定して通うことができるようになっていましたが、カフェ作業で複数のことをするようになってから、確認する行動が増えてきました。

また、ゆのまちハウスでは生活リズムや雰囲気にも慣れ、他の利用者と話す場面が増えてきました。ただ、2週間ほど前から朝の準備に時間がかかって遅れそうになることや通所を拒む発言が出てきました。

そして、ここ3日ほどスマイルを休んでいるという状況を確認したため、モニタリングも兼ねて担当者会議を開催することになりました。

中間評価演習ポイント ※スタッフ作成計画使用

ニーズ②・・・グループワーク(25分)

中間評価の考え方を知り、あとの個人ワークにつなぐ

- 具体的到達目標に対する現状の評価をする
- 計画の支援内容の評価もふまえる(手元に)
- 「達成」「ほぼ達成」でもその理由を考える。

中間評価演習ポイント ※スタッフ作成計画使用

ニーズ③

・個人ワーク(10分)

- ★フォロワー…必要な受講者が多い時は、一度止めて再確認してもOK
- ★軌道修正…研修意図とのズレはないか、獲得してほしいことは何か
- ★イメトレ…次のグループワークに向けて(ピックアップしたい意見の確認、発言のバランスを再確認、誰にどの意見を出してもらうか…等)

・グループワーク(20分)

- ★個人ワークでのイメトレから進める

モニタリング(担当者会議) シナリオ確認

モニタリング担当者会議シナリオ

【登場人物 7名】

本人 (米田 誉)

母 (米田 ひかる)

相談支援専門員 (藤山)

B型サビ管 (川瀬)

B型支援員 (三口)

GHサビ管 (松嶋)

GH世話人 (野口)

【経緯】 講師から説明(スライド有)

約半年が経過し、相談支援専門員がサービス等利用計画のモニタリングのため、各事業所の聞き取りをした。スマイルでは、順調に作業内容を覚えて安定して通うことができるようになっていたが、カフェ作業で複数のことをするようになってから、確認する行動が増えてきた。また、ゆのまちハウスでは、生活リズムや雰囲気にも慣れて他の利用者と話す場面が増えてきた。ただ、2週間ほど前から朝の準備に時間がかかって遅れそうになることや通所を拒む発言が出てきた。そして、ここ3日間ほどスマイルを休んでいるという状況を確認したため、モニタリング

演習(中間評価)

「到達目標、長期目標、短期目標」

「具体的到達目標、本人の役割、支援内容」

【ニーズ②】

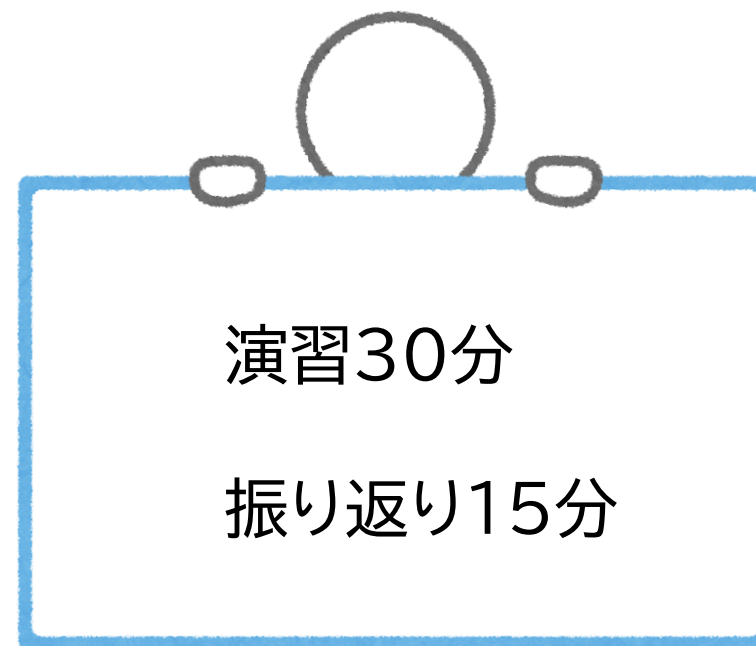
進行:

板書:

【ニーズ③】

進行:

板書:



演習 2 の進行

13:15

13:30

13:47

14:22

15:25

16:25

17:05

(1) 講 義 「中間評価について」	(2) ガイダンス 「演習の進め方」	(3) 演 習 「VTR視聴」	(4) 講 義 「中間評価の方法」	(5) 演 習 「中間評価の実施」 「まとめ」	(6) 演 習 「個別支援計画修正」	(7) まとめ
--------------------------	--------------------------	-----------------------	-------------------------	----------------------------------	--------------------------	------------

(1) 講義「中間評価について」

- ・ 中間評価についての講義を受け、中間評価の意味を知る。

(2) ガイダンス「演習の進め方について」

- ・ 演習の流れと太一さんの現状について。

(3) 演習「VTR視聴」

- ・ 3ヶ月後モニタリング時の担当者会議のVTRを視聴をする。

(4) 講義「中間評価の方法」について

- ・ 中間評価票を用いて、実際に中間評価の仕方について学ぶ。

(5) 演習「中間評価の実施」

- ・ 中間評価票の作成を行い、グループ内で共有する。

(5) 演習「個別支援計画の修正」

- ・ 中間評価の結果から、個別支援計画の修正・作成を行う。終了後発表を行う。

個別支援計画修正

※スタッフ作成計画使用

講義(15分)

→WBにスタッフ作成個別支援計画の大枠記入(参考写真あります)

修正案作成演習

- ・中間評価の「達成状況の評価」によって、Grごとに進行が異なる。
- ・どこでもボードに記入した「中間評価」を基に、WB計画を修正していく。
- ・修正前の文章の記入は不要
- ・大枠と決まった内容を記入



お疲れさまでした

これからのワーキングや演習へのご参加をよろしくお願いします